

提案概要

【課題】

療育センターを利用している家庭における、きょうだい児の預け先を確保することや、預け先への送迎が負担

【解決に向けた提案】

北部地域療育センター内で地域の支援を活用して、きょうだい児保育を定期的に行う。

今回の報告

【令和5年度の取組】

- ・きょうだい児保育実施：29日
→新たな利用者：12名
- ・利用者からの声
→負担の軽減になる、療育に集中できる
利用可能日が増えてほしい
療育以外での曜日でも利用したい
利用料金の負担軽減してほしい
- ・地域の担い手づくり
サポーター養成講座：12名参加
だれでも勉強会：62名参加

【今後の取組】

- ・令和6年度予算案にて療育センターの事業へ
→保育実施日の増加
- ・地域の障害への理解促進・支援の輪の拡大に向けた活動の継続
- ・ネットワークのさらなる拡大

部会委員からの主な意見

- ・団体のネットワークを広げるために、区役所と一緒に取り組んでほしい。
- ・サポーターの育成など、活動を地域に広げサポーターを増やすというステップを重視してほしい。予算化により事業費は確保されるが、限られた人が事業に従事するのではなく、引き続き、地域のサポーターなど、多くの人に関わる事業として継続してほしい。
- ・他の療育センターに横展開をする際には、預かり保育だけではなく、地域で支え合うというマインドも一緒に広げてほしい。